

2019年8月1日・2日

東京ビッグサイトにおいて開催された「全国地方議会サミット2019」に参加。

<内容>：集会のテーマ

地域を変えるためには、議員だけでなく、議会事務局・執行部、学生やNPOなどの市民、有識者などが団結し「チーム議会」となることが必要。今回のサミットでは、チーム議会として議会改革の次のステージへと歩みを進める先進的な議会が東京ビッグサイトに集結し、私たちが目指すべき議会の今後のあり方を議論。

<所感>

地方自治、二元代表制の一方の「議会」が十分機能していない現実をパネルディスカッション「NHK地方議員2万人アンケートのホンネ」から実態報告。議会が個々人の議員活動ではなくチームとして機能するためには、議会・議員・議会事務局の役割、連携のあり方を先進地からの実践報告。

また、片山善博氏の講演「チーム議会の視点から見る議会・議員の役割」での議会のあり方を、司法における裁判官・検察・弁護団にたとえての話でいかに議会がチームとして機能し市民の付託に応えていくかについて示唆を得ることができた。

視察内容及び所感(我孫子市、常陸太田市)

事前の視察(質問)項目に対して、以下のような状況であった。

●2019年8月5日 我孫子市

(市民投票制度について)

① この制度(常設型住民投票条例)の制定の経緯

きっかけは、市民による「常設の住民投票条例を求める」陳情があったことによる。この陳情は、一度は不採択になり、その後同趣旨の陳情が再度出され継続審査中に、市長による市民投票の制度化の表明の背景もあり、議会も、最終的には採択した。

② この制度に対する議会としての考え方

議会での論点は「永住外国人への投票資格の付与」「請求要件」「成立要件」「条例提案時期」等であり、それらについて議論の結果可決となった。議会としては最後まで、間接民主主義と、市民による直接請求制度に関して整合性を問う声があり、全会一致での可決とは至らなかった。

③ この制度ができたことによる、議会、市民の意識の変化

常設型の市民投票制度ができることにより、市民の8分の1の署名があれば、議会の同意を経ることなく、市政の課題について住民投票の実施により市民が直接意思表示できるということになり、議会としても普段から民意をくみ取ることの必要性、市民側も政策について自分のこととして考えるようになり、いい意味での緊張感が生まれた。

④ この条例が活用された事例

これまで、制定以後、この条例に基づく、署名活動や住民投票の実施はないとのこと。

(正副議長選について)

① 正副議長選において所信表明の場を設けるようになったのは、いつからか、またどのような経緯からか。

2015年に、議員からの問題提起により、正副議長選の際、所信表明の場を設けること提案がなされた。それを受ける形で、実施に至っている。

提案したが議員が、どういう問題意識のものであるかは、明確にはわからないとのこと。

② 所信表明の後、質疑等の場を設けているのか。

質疑の場は設けてはいないとのこと。

③ 正副議長選での被選挙権者は議員全員だと考えるが、その中で所信表明をする議員をどのように決めるのか

事前に、意見表明をしたい議員は申し出ることになっている。それを受けて正副議長選を実施する前に意見表明をする。時間は10分以内。公開であり、インターネット中継も実施。

④ 事実上の「立候補制」での選挙になっていると思うが、会議規則等との整合性をどのように測っているか。

本会議の場で、正副議長選挙に入る前に、意見表明の場を設けるので、会議規則等何ら問題は生じていない。また、選挙実施前に、意見表明をするしないにかかわらず、被選挙権者は議員全員であることはその都度確認をしている。

●2019年8月6日 常陸太田市

① 周辺自治体として安全協定締結を結ぶに至った経緯

近隣には原子力施設が多数あり、また、1999年のJCO臨界事故なども実際にあり、安全協定の必要性は、福島第一原発事故以前の時から認識であった。

福島原発事故後、立地自治体である東海村からの提案もあり「原子力所在地域首長懇談会」を立ち上げ、議論が始まった。

② 締結交渉に当たって、相手の日本原電や他の周辺自治体との連携で、問題となったこと、また締結に至った要因。

周辺自治体にまで、原発稼働時において「事前承認権(拒否権)」を与えるかどうか、大きな課題であった。

日本原子力発電株式会社(原電)としては、周辺自治体に事前承認権を与えると、全国の他の地域にも影響が及ぶことを懸念し、また自治体側は、住民の健康を保護、生活環境を保全を担保するためには必須のこととして議論がなされた。

締結に至ったのは、立地自治体を含めた自治体側の強い要望と、また、事前承認権を認める内容の協定案文を原電側に一定程度配慮した結果である。

③ 避難計画の実状(実効性)について

広域避難計画は2017年に策定された。

実効性に関しては、

緊急時の安定ヨウ素剤の配布方法、配布手順、配布体制

複合災害への対応

行政機能の維持及び移転先の確保

バス等の必要台数の把握及び確保

避難受け入れ市町村との連携

冬季においての、積雪時の時の対応

などがあり、今後、住民アンケートの実施による住民の意識・意向の把握、避難訓練の実施などを通してより実効性のあるものにしていきたいとのこと。

④ 安定ヨウ素剤配布の現状と問題点について

現在は一か所に集中備蓄しているのみで、事故時の配布体制などは確立していない。

また、事前配布も実施していない。

適切なタイミングで服用できる体制にするためには、まだまだ課題があるとのこと。

⑤ UPZ外の住民に対してどのような対策をしているか。

常陸太田市は一部の地域が30キロ圏外になっているが、対象人口も1,000人程度で少なく避難計画等では、その地域も含めて(UPZ内外を区別せず)対象地域としているとのこと。

会派視察報告書 よなご・未来

日時：令和元年 8 月 7 日（水） 10：30～12：30

場所：千葉県香取市 川の駅 水の郷さわら 2 階

視察名：道の駅と川の駅「水の郷さわら」整備事業について

説明者：川の駅・水の郷さわら 支配人 吉田玄（ひろし）氏

香取市議会 副議長 田代一男氏

香取市議会 事務局長 成毛正道氏

香取市議会事務局 議会班 班長 栗林克夫氏

主査 岡 喜子氏

所感 香取市（平成 18 年に佐原市、香取郡山田町、栗源町、小見川町が合併）

事業経過 平成 12 年に合併前の佐原市で中心市街地活性化基本計画策定

平成 14 年国・県・市の三者で事業基本合意

平成 17 年 PFI の検討委員会を設置

平成 19 年国道 356 号線整備・PFI 法による入札の実施

平成 20 年事業者の選定

平成 21 年建設工事着手

平成 22 年 3 月オープン運営開始

平成 28 年道の駅拡張工事着手

平成 29 年 4 月道の駅拡張式典・運営開始

というように、計画策定から 10 年でオープンしている。

6 年後にさらに拡張。

水の郷さわらの特徴として①全国でも稀の道の駅と川の駅が併設している。

川の駅が国の防災ステーション+

道の駅が市のまちづくり観光拠点

②PFI 方式で整備された施設（国事業では初）

③県内でも利用客が多い年間 110～140 万人

年間売上 10～11 億円

現在の集客 年間 150 万人前後

年齢層 50～70 代が大半で 20～30 代の子持ち世代一部、40 代少ない 女性が 6 割

県内、県外からの数

県内、隣接する東京、茨城、関東周辺で各 3 分の 1

圏央道が開通してからは、それまで少なかった埼玉、栃木・群馬
が増加

それぞれの施設の集客数

道の駅 初年度 160 万人をピークに、翌年の東日本大震災で 110 万人に落ちたが、最近では持ち直して 140 万人を維持

【対策】各種イベント 出荷者協議会の「旨いもの市」等 創業祭(春)、

まつり IN 水の郷 (盆)、収穫祭 (秋)

通年集客 フリーマーケット (土日)

売り場拡張 平成 30 年 (8 年目) 香取市

駐車場拡張 当初 135 台から 240 台香取市

川の駅 初年度の 19 万人をピークに、5 万人台に落ち込むが現在は 8 万人台へ回復

【対策】ボートフェスタ (4 月) ボートメーカー協賛

マリンフェスタ (5 月) ヤマハシースタイル会員

リバーフェスタ (8 月) E ボート交流大会他

オールスタークラシック (10 月) バス釣り TOP プロ日本一決定大会

さわらホール各種展示・コンサート、写真展、絵画展

防災教育展示室 (堤防決壊実験) 小中学校へ働きかけ

レンタサイクル 33 台 子供自転車、親子自転車導入

費用・収益について

道の駅 (香取市所有、川の駅物産含む)

建設費 : 8 億円

維持管理費 : 5 億円 / 15 年

売上 : 10 億円超 / 年

収益 : 市への 5 千万 / 年 (売上の 5 %)

川の駅 (国土交通省所有、佐原河岸含む)

建設費 : 9 億円

維持管理費 : 6 億円 / 15 年

売上 : 0 円

収益 : 0 円

集客に対してはイベントや施設拡充など取り組みをされていて、市に対しても売り上げの5%が入ってきている。平日でも道の駅は大変賑わっていた。川の駅は国交省所管、防災拠点や市民の交流の場となっており、市民の憩いの場となっていた。当市は道の駅など市内に一つもなく、今後を考えるよい見本となった。

研修会行程（土光 均）

月 日	行 程	宿 泊 地
8 / 1 (木)	<p>8:45 米子空港 — 羽田空港 == 10:05 10:58 11:12 11:26 11:32 11:34 11:38 11:44 11:46</p> <p>ANA384 便 モノレール 東京臨海高速鉄道りんかい線快速・新木場行 国際展示場駅 ** 有明駅 == 東京ビッグサイト ゆりかもめ</p> <p>◎全国地方議会サミット2019 ～チーム議会在地域をより良くする～</p> <p>時間 13:00～17:00</p> <p>場所 東京ビッグサイト（東京都江東区有明3丁目11-1）</p>	<p>東京ベイ有明ワ シントンホテル ☎03-5564-0111</p>
8 / 2 (金)	<p>◎全国地方議会サミット2019 ～チーム議会在地域をより良くする～</p> <p>時間 9:30～16:00</p> <p>場所 東京ビッグサイト（東京都江東区有明3丁目11-1）</p>	

※研修終了後は、私用のため政務活動費支出対象外とする。

行政視察行程 (会派：よなご・未来 西川議員、国頭議員、土光議員、矢倉議員 4名)

月 日	行 程	宿 泊 先
8 / 5 (月)	<p>8:45 10:05 11:31 11:46 11:54 12:26 12:29 12:42【昼食】</p> <p>米子空港 ——— 羽田空港 = = = = = 品川駅 = = = = = 松戸駅 = = = = = 我孫子駅 . . . 市役所 ANA384 便 京急空港快特・印旛日本医大行 JR 上野東京ライン特別快速・土浦行 JR 常磐線快速・取手行 タクシー</p> <p>我孫子市行政視察 午後2時00分から午後4時00分まで 【議会事務局】 ☎ 04-7185-1655</p> <p>【調査項目】 ①市民投票制度について ②正副議長選における意見(所信)表明について</p>	
8 / 6 (火)	<p>16:43 18:13</p> <p>我孫子駅 = = = = = 水戸駅 JR 常磐線・勝田行</p> <p>8:18 8:49</p> <p>水戸駅 = = = = = 常陸太田駅 . . . 市役所 JR 水郡線・常陸太田行 (送迎)</p> <p>常陸太田市行政視察 午前9時30分から午前11時00分まで 【議会事務局】 ☎ 0294-72-3111 (代表)</p> <p>【調査項目】 日本原子力発電東海第二発電所に係る取り組みについて</p> <p>【昼食】 13:11 13:25 13:31 13:48</p> <p>常陸太田駅 = = = = = 上菅谷駅 = = = = = 水戸駅 JR 水郡線・上菅谷行 JR 水郡線・水戸行</p>	<p>プレジデント水戸 ☎029-300-1100</p>
8 / 7 (水)	<p>8:24 9:41 9:44 10:05</p> <p>水戸駅 = = = = = 鹿島神宮駅 = = = = = 佐原駅 . . . 道の駅・川の駅「水の郷さわら」 鹿島海鉄道大花鹿島線・鹿島神宮行 JR 鹿島線・佐原行 タクシー</p> <p>香取市行政視察 午前10時30分から午後0時00分まで 【議会事務局】 ☎ 0478-50-1217</p> <p>【調査項目】 道の駅・川の駅「水の郷さわら」整備事業について</p> <p>【昼食】 13:51 14:28 14:39 15:33 15:33 16:20 18:25 19:45</p> <p>佐原駅 = = = = = 成田駅 * * 京成成田駅 = = = = = 青砥駅 = = = = = 羽田空港 ——— 米子空港 JR 成田線・成田行 徒歩 京成本線特急・京成上野行 京成押上線アクセス特急 ANA387 便</p>	

旅費計算表

令和元年8月5日～令和元年8月7日 (2泊3日)

千葉県我孫子市・茨城県常陸太田市・千葉県香取市
よなご・未来(西川議員、国頭議員、矢倉議員) 会派行政視察

月日	区間	鉄道路線名	区キロ数	間キロ数	目的地までのキロ数	運賃	グリーン	急行料		泊料	料
								特別	当宿		
8/5 (月)	米子空港～羽田空港	ANA	776.0			63,200	ダイヤミックJTB	議員1,500円 随員1,100円	甲 14,800円 乙 10,900円	1,500	9,800円
	～品川駅	京急	12.5			410					
	～松戸駅	JR	28.3			720					
	～我孫子駅	JR	15.6								
	我孫子駅～水戸駅	JR	92.8			1,490					
8/6 (火)	水戸駅～常陸太田駅	JR	19.6			320					
	常陸太田駅～上菅谷駅	JR	9.5			320				1,500	
	～水戸駅	JR	10.1								
8/7 (水)	水戸駅～鹿島神宮駅	鹿島臨海鉄道				1,570					
	～佐原駅	JR				320					
	佐原駅～成田駅	JR	26.9			500				1,500	
	京成成田駅～青砥駅	京成	49.7			1,440					
	～羽田空港	京成	32.8								
	～米子空港	ANA	776.0								
計	議員旅費				74,790	70,290	0	0	0	4,500	0
	随員旅費				0						

出席議員 西川議員、国頭議員、矢倉議員

議員旅費	74,790 × 3名 =	224,370 円
タクシー代	2,270 × 1式 =	2,270 円 (我孫子駅⇄我孫子市役所)
タクシー代	2,090 × 1式 =	2,090 円 (佐原駅⇄水の郷さわら)
旅行会社手数料	1,000 × 3名 =	3,000
お土産代	4,500 × 1式 =	4,500 円 (我孫子市、常陸太田市、香取市)
計①		236,230 円

旅費計算表

令和元年8月1日 ~ 令和元年8月7日 (研修:1泊2日 視察:2泊3日)

よなご・未来(土光議員) 研修会参加・会派行政視察
 「研修会」全国地方議会サミット2019 くちチーム議会が地域をより良くする」
 「行政視察」千葉県我孫子市・茨城県常陸太田市・千葉県香取市

月日	区間	鉄道路線名	区キロ数	間キロ数	目的地までのキロ数	運賃	グリーン	急行料金		当日	宿泊料	
								別	幹線		甲	乙
8/1 (木)	米子空港 ~ 羽田空港	ANA				77,744	ダイナミックTB	議員1,500円	14,800円	1,500	10,900円	9,800円
	~ 天王洲アイル駅	モノレール				760						
	~ 国際展示場駅	りんかい線										
	有明駅 ~ 東京ビッグサイト駅	ゆりかもめ				190						
8/2 (金)										1,500		
8/5 (月)	松戸駅 ~ 我孫子駅	JR		15.6		310				1,500		
	我孫子駅 ~ 水戸駅	JR		92.8		1,490						
8/6 (火)	水戸駅 ~ 常陸太田駅	JR		19.6		320				1,500		
	常陸太田駅 ~ 上菅谷駅	JR		9.5		320						
	~ 水戸駅	JR		10.1								
8/7 (水)	水戸駅 ~ 鹿島神宮駅	鹿島臨海鉄道				1,570				1,500		
	~ 佐原駅	JR				320						
	佐原駅 ~ 成田駅	JR		26.9		500						
	京成成田駅 ~ 青砥駅	京成		49.7		1,440						
	~ 羽田空港	京成		32.8								
	~ 米子空港	ANA		776.0								
計	議員旅費				92,464	84,964	0	0	0	7,500	0	0
	随席議員				0							

土光議員は、8月1日・2日に東京ビッグサイトで開催される研修会に参加。8月5日の会派視察は、松戸駅から合流する。8月2日の研修会終了後から8月5日の松戸駅での合流までは、私用のため政務活動費支出対象外とする。

議員旅費 92,464 × 1名 = 92,464 円
 研修参加費 10,000 × 1名 = 10,000 円
 旅行会社手数料 1,000 × 1名 = 1,000 円
 計② 103,464 円

旅費総額(計①+計②) 339,694 円